

長田地域語らん場8回目 報告1枚目

【開催日】令和5年12月21日（木）【時間】13:30～15:00

【場所】長田みのり会館

今回の語らん場では・・・

- * 語らん場、生活支援コーディネーターについて
- * なぜ語らん場が必要なのか（2025年問題）
- * 長田地域の人口、高齢化率について
- * 大場町 移送支援について報告
- * 移動販売についての現状報告
- * 小豆崎町「あっざきあった会」報告
- * 白原町「白原PINPINサロン」報告の内容で開催しました！！



○なぜ語らん場が必要なのか（2025年問題）

従業員数に占める65歳以上の労働者の割合

訪問介護員 25.6%

介護職員 9.4%

介護支援専門員 9.3%



ヘルパーの4人に
1人が65歳以上！

公益財団法人・介護労働安定センター
：2020年度介護労働実態調査より

・介護ヘルパーの4人に1人が65歳以上であり、介護で働く人材も高齢化が進んでいる

・時代背景の中、これから必要な事は

*** 「ちょっとした困りごとを地域の住民で互いに支えあっていく」対策！！**

*** 健康で転ばない体を維持する事、積極的そして継続的に健康寿命を延ばす為の介護予防の取り組みが必要！！**

この二つの対策がとても重要です！！

この二つの対策を地域に応じて、どのような形で実現していけるか、検討していく手立てとして語らん場を活用して頂きたい事を共有しました！

○大場町 移送支援について 堀自治会長より報告

* 以前から「買い物に困る、移動販売が実現しないかな」という課題あり、中山間地域5自治会で会議開催！

* 会議後、「大場町語らん場」を開催する事が決まり、開催の案内、告知を事前に2回、市報と一緒にチラシを各世帯に配布し動員。

* R5年7月「大場町語らん場」実施！大場町の33世帯82名の内、**27世帯から参加された！！**

* ゆたか荘 里氏より「困った人が居るのであればまずはお試しで移送支援できますよ」との話。

* 参加者より、「今のところは困ってない」「週に1回子や孫にお世話になってる」

「生協に頼んでいる」「独り暮らしなので是非、送迎お試ししたい！」「困っている人が事業所と繋がってほしい」の声が参加者より上がり、**5名の移送支援利用希望者！**

* 現在、日程表を作り、概ねひと月に一回の実施で現在進行中！



～長田地域語らん場8回目 報告2枚目～

○移動販売について ほっこうAコープ中尾店長より現状報告

- *移動販売をやっぴいこう！というところて検討している。
- *移動販売をサポートする会社、とくし丸さんと随時、会議をしている。
- *既に移動販売が始まっている佐賀県伊万里市に視察に行き、非常に感動し、是非やっぴみたいと強く思った！
- *R6年5月までにドライバーを見つけないといけな。その後、まずは長田地区から全世帯調査に入る予定。（本当に困っている人を見つかる為）
- *全世帯調査の目的は、お客様の開拓、利用頂ける方を最低でも120名みつけなと移動販売が成り立たない。
- *ドライバーが見つかり、全世帯調査実施し、最低でもお客様120名程見つけた所で、コースを作り販売の研修を行い販売スタート！！
- *語らん場を通して皆さんの意見とかエリアの情報とかを教えて頂きたい！是非、ご協力、要望、ご指導いただければとの思っています。 **ドライバー募集中！！**



○小豆崎町「あっざきあつた会」木下民生委員、北御門民生委員より報告



市の一般介護予防教室をきっかけに、「あっざきあつた会」の集まりが始まりました！こんな感じて真面目にふざけながらやっています♪「あそこに行ったら何か楽しかよね」という会にできたらいいかなと思っています！！

～幸せなら手をたたこう～
を参加者みんなで歌いました♪

○生活支援コーディネーターより 白原町白原PINPINサロン報告！

市の短期集中予防サービスを卒業後・・・
みんなで元気で居られるように！！と無理をせず自分達の続けられる形で
「健康の為に集う場」として年の差関係なく集われています♪
「サロン」とネーミングに付いているが、いきいきサロンではなく、自主的な集いの場です。
R5年11月から新メンバーが増え60代～90代が集まり元気に活動しています！！

参加者の声♪

自分達と同じ60代の方に声をかけても、自分には関係ないと思っていると感じる。
私達がフレイルの状態になるのは遠い話ではない。だから何かを始めよう！
脳トレ行ってみようとか思っています！

○最後に長田地区社会福祉協議会会長兼猿崎町自治会長の井手さんより挨拶！

参考になることばかりで、非常に活動が良かった！
猿崎町も高齢化が進んでいる。
孤独な人を見落とさない、孤独な人を出来るだけ引っ張り込む。
長田は「誰もがふれあい支え合う町 ながた」
小豆崎町や白原町の話、本当に参考になりました！



～生活支援コーディネーターより一言～

地域の皆さんのお声あってこそ、今後の住みやすい暮らしに繋がっていくと感じています。今後も語らん場を通して情報共有、意見を出しあいながら「誰もがふれあい支え合う町 ながた」を目指し頑張っていきたいと思います！！